

- 7) 山下委希子, 黒川賢造, 松井三枝, 倉知正佳: I CD-10に基づく分裂病型障害と精神分裂病患者のMMPIプロフィールについて, 第19回日本精神科診断学会, 1999, 9, 札幌.
- 8) 黒川賢造, 中村主計, 萩野宏文, 四衢 崇, 山下委希子, 鈴木道雄, 住吉太幹, 松井三枝, 倉知正佳: 病初期に強迫症状を呈した分裂病型障害と強迫性障害の3D-MRIによる早期鑑別の可能性について, 第19回日本精神科診断学会, 1999, 9, 札幌.
- 9) 牛 麗莎, 松井三枝, 山下直宏, 倉知正佳: 大学生のメンタルヘルス-UPIとMMPIの関係について, 第144回北陸精神神経学会, 1999, 9, 富山.
- 10) 山下委希子, 黒川賢造, 松井三枝, 藤城香里, 倉知正佳: 分裂病型障害と精神分裂病患者の神経心理学的プロフィールの比較, 第144回北陸精神神経学会, 1999, 9, 富山.
- 11) 住吉太幹, 松井三枝, 山下委希子, 野原 茂, 上原 隆, 倉知正佳: セロトニン1A受容体作動薬タンドスピロンの精神分裂病患者の記憶機能に対する効果, 第9回日本臨床精神神経薬理学会, 1999, 10, 大分.
- 12) 倉知正佳, 鈴木道雄, 野原 茂, 黒川賢造, 萩野宏文, 四衢 崇, 高橋 努, 山下委希子, 松井三枝, 森 光一, 瀬戸 光: 精神分裂病の脳画像解析-SPMを用いた検討, 平成11年度厚生省精神・神経疾患研究委託費研究報告会, 1999, 12, 東京.
- 13) Matsui M, Yamashima T, Kumahashi K, Yukie M, Sugishita M: Paired associate learning impaired by lesion of left perirhinal cortex. 2nd Tsukuba International Conference on Memory. 1999, 12, Tsukuba.
- ◆ その他
- 1) 松井三枝: 嗅周皮質梗塞患者で見られた記憶障害, 臨床神経学セミナー, 1999, 5, 金沢.
- 2) 倉知正佳, 四衢 崇, 野原 茂, 住吉太幹, 斎藤 治, 鈴木道雄, 黒川賢造, 山下委希子, 松井三枝, 森 光一, 瀬戸 光: 精神分裂病の脳画像解析とドーパミン代謝, 平成8~10年度厚生省精神・神経疾患研究委託費総括研究報告集, 15-18, 1999.
- 3) 松井三枝, 牛 麗莎: 大学生における性格形成要因の自己認識, 富山医科薬科大学一般教育研究紀要, 22: 43-45, 1999.

- 4) Goodall, S., Matsui, M., Sakka, L.: An observational study into the cross-cultural differences of postural gestural communication between Japanese and non-Japanese. J Liberal Arts & Sciences, 22: 47-59, 1999

行 動 科 学

教 授 福 田 正 治

◆ 学会報告

- 1) 長谷川嘉奈子, 福田正治: 血圧変化を指標とした恐怖情動の定量化の試み. 第76回日本生理学会大会, 1999, 3, 長崎.
- 2) 長谷川嘉奈子, 畑田智美, 平岩 奏, 福田正治: 不安特性と血圧反応性に関する研究-STAIの特性不安による差異について. 第25回日本看護研究学会, 1999, 7, 浜松
- 3) Fukuda M., K. Hasegawa and K. Higuchi: Amygdala neuron responses to prepulse inhibition during rat startle behavior. 29th Ann. Meet. of Neurosci., 1999, 25: 872, Miami

数 学

教 授 南 部 徳 盛
助 教 授 笹 野 一 洋

◆ 研究概要

南部徳盛:

- 1) 非線形退化型放物型方程式の研究
2) 非線形楕円型方程式の研究
3) 非線形常微分方程式の研究

笹野一洋:

- 1) 3次元多様体上の流れの位相的研究
2) 2次元多様体上の写像の位相的研究

◆ 学会報告

- 1) Nanbu, T.: On the large time behavior of solutions of some nonlinear degenerate parabolic system, The 7th International Colloquium On Finite or Infinite Dimensional Complex Analysis, 1999. 8. Fukuoka, Japan.
- 2) Nanbu, T.: On some estimates of

solution of some nonlinear degenerate parabolic equations, The Second International ISAAC Congress, 1999. 8. Fukuoka, Japan.

◆ その他

笹野一洋：富山医科薬科大学における教養教育，単科医科大学における教養教育モデルプラン策定のためのシンポジウム I，1999，12，香川医科大学。

物 理 学

教 授 豊 富 誠 三
教 務 職 員 田 村 一 郎

◆ 学会報告

- 1) 田村一郎，水島俊雄，石川義和，桜井淳児：価数揺動物質 $CeFe_2Al_8$ と $LaFe_2Al_8$ のメスバウアー効果。日本物理学会1999年秋の分科会，1999，9，盛岡。
- 2) 水島俊雄，福田修一，酒井 寛，石川義和，田村一郎，桜井淳児： $CeFe_2Al_8$ の価数揺動状態。日本物理学会1999年秋の分科会，1999，9，盛岡。

化 学

教 授 広 上 俊 一
教 務 職 員 角 田 広 子

◆ 研究概要

広上俊一，角田広子：気相および凝縮系での2-アゼチジノンの構造と電子状態の研究：計算化学的方法によるオレフィン分子と基底状態酸素原子の反応機構の研究：計算化学的方法による3原子分子の解離反応の遷移状態の研究

◆ 学会報告

広上俊一：水素原子と一酸化炭素から生成するホルミルラジカル(HCO)の反応障壁エネルギーの理論計算。1999計算化学討論会，1999，5，東京。

生 物 学

教 授 尾 崎 宏 基
教 務 職 員 荒 館 忠

◆ 研究概要

前脳交連線維系の発生過程に関する神経解剖学的・神経生物学的研究，糖尿病治療薬の開発を目的とした天然生理活性物質の探索と応用に関する研究

◆ 学会発表

- 1) 尾崎宏基：脳梁形成におけるパイオニアニューロンの役割。第104回日本解剖学会総会，1999，3，三鷹。

統 計 ・ 情 報 科 学

教 授 折 笠 秀 樹

◆ 研究概要

糖尿病のQOL・医療経済・ガイドライン策定に関する調査研究，急性期精神病の病状と予後についての調査研究，経口避妊薬と子宮頸がんの因果関係についてのメタアナリシス研究，高脂血症に対するJELIS臨床試験のコーディネーションと統計解析，慢性腎不全に対する低蛋白食の効果を見るための臨床試験の計画，大腸がん患者の転帰・予後調査など。

◆ 著書・訳書

- 1) 折笠秀樹：第6章全般的な臨床評価。「これからの臨床試験」椿広計他編，86-97，朝倉書店，東京，1999。
- 2) 折笠秀樹：1. 糖尿病患者のQOLを評価するには。「糖尿病学の進歩—第33集—」日本糖尿病学会編，46-50，診断と治療社，東京，1999。
- 3) 折笠秀樹：メタアナリシスの具体例—脳循環代謝改善剤とグルコシダーゼ阻害剤を例に。「くすりのチェックは命のチェック」浜六郎他編，313-324。日本評論社，東京，1999。
- 4) 折笠秀樹：コラム「クロスオーバー試験とパラレル試験 (p.37)」，「メタ解析の手法と限界 (p.47)」，「NNT (p.63)」，「無作為割付け (ランダム化) (p.67)」，「オッズ比とハザード比 (p.93)」，「Cox比例ハザードモデル (p.101)」，「サロゲートエンドポイントとトルーエンドポイント (p.121)」，「ITT解析とPPB解析 (p.189)」，「p値と信頼区間 (p.285)」，「プロスペクティブ研究とレトロスペクティブ研究 (p.317)」，「後ろ向